

国際シンポジウム

メコン・コモンズからメコン共同体へ ーメコンの未来を文理シナジーから展望するー



【日時】2018年2月11日（日）9：30～17：30（受付開始 9：00）

【場所】千葉大学 西千葉キャンパス 人文社会科学系総合研究棟2階 マルチメディア会議室

【定員】80名（先着順）

基調講演 9：50～10：30



「メコン地域におけるイノベーションとコネクティビティ技術」

Sudam Pawar（メコン機構ディレクター）

特別パネル 10：40～12：00 【メコン・コモンズからメコン共同体へ】

「メコン地域における日本の外交と協力の進展」

三好あさぎ（外務省南部アジア部南東アジア第一課課長補佐）



「メコン圏新興国における日本の中小企業の進出状況と課題」

西以久夫（独立行政法人中小企業基盤整備機構国際化支援アドバイザー）



「メコン・コモンズからメコン共同体へ」

五十嵐誠一（千葉大学大学院社会科学研究院准教授）



〔司会・進行〕石田憲（千葉大学大学院社会科学研究院教授）

【参加費】無料

【事前登録】URL ⇒ <https://goo.gl/forms/Aya9zF7eKwPSt1gt1> メール ⇒ mekong-commons@chiba-u.jp

※事前登録なしで当日参加もできますが、定員の都合上、できるだけ事前登録をご利用下さい。

【言語】日本語および英語（同時通訳つき）

【主催】科学研究費助成事業新学術領域研究（研究領域提案型）「文明と広域ネットワーク：生態圏からの思想、経済、運動のグローバル化まで」（研究代表：五十嵐誠一）、メコン機構（Mekong Institute）

【共催】千葉大学グローバル関係融合研究センター、科学研究費助成事業新学術領域研究（研究領域提案型）「政治経済的地域統合」（研究代表：石戸光）、千葉大学バンコクセンター都市園芸（食・環境・健康）イノベーション創生拠点

【お問い合わせ先】mekong-commons@chiba-u.jp

【開催趣旨】

本シンポジウムでは、メコン地域唯一の政府間国際組織であるメコン機構（Mekong Institute）の協力を得て、「産学官民」からメコンの現場の第一線で活躍する有識者を招聘し、コモンズに必要な条件や要素を文理の垣根（歴史学、社会学、国際政治学、国際関係論、国際経済学、開発学、農業経済学、生物工学、地理学、公衆衛生学、工学、農学、土壌学など）を越えて議論し、あるべき「メコン共同体」像を提言します。

〈セッション1〉 13：10～14：30 **【メコン地域における公衆衛生の新展開－健康増進、感染症、食料安全保障】**

「メコン地域における公衆衛生」

Chanuantong Tanasugarn（マヒドン大学インターナショナルカレッジ副学長）

「メコン地域における道路整備のHIV/AIDS拡大への影響」

Liwa Pardthaisong（チェンマイ大学社会科学部講師）

「メコン地域における食料安全保障の促進」

Maria Theresa S. Medialdia（メコン機構農業開発商業化課ディレクター）

座長：渥美利弘（明治学院大学経済学部准教授）

討論者：Watcharas Leelawath（メコン機構事務局長）

〈セッション2〉 14：40～16：00 **【持続可能なメコンに向けて－環境と農業】**

「メコン地域におけるグリーン貨物輸送とロジスティクス」

Sa-nga Sattanun（メコン機構貿易投資促進プログラムマネージャー）

「メコン地域における先進農業技術とイノベーション」

Chalernpol Kirdmanee（タイ国立遺伝子生命工学研究センター上級研究員）

「メコン地域における環境協力－メコン河委員会に注目して」

横田将志（日本大学法学部助教）

座長：櫻井清一（千葉大学大学院園芸学研究科教授）

討論者：犬伏和之（千葉大学園芸学部教授）

〈セッション3〉 16：10～17：30 **【メコン地域における政治経済の深層－移民労働、人身売買、模倣品】**

「メコン地域における移民労働」

Huynh Thi Ngoc Tuyet（前メコン移民ネットワーク運営委員）

「メコン地域における人身売買」

池内千草（World Vision Japan 開発事業第1課プログラム・コーディネーター）

「製品の多様性と模倣品の一次市場に関する経済分析－メコン地域への含意」

渥美利弘（明治学院大学経済学部准教授）

座長：小松寛（千葉大学グローバル関係融合センター特任研究員）

討論者：石戸光（千葉大学大学院社会科学研究院教授） 島崎裕子（早稲田大学社会科学部准教授）